

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	遠田 幣	学校名	神戸市立本山第一小学校
実施学年	5年生	教科	外国語科
単元名	Happy birthday! ~ 誕生日やほしいものを伝え合おう~		

《学びを深めたいポイント》

学習指導要領では、「イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや 気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする」と記載がある。英語に初めて触れる段階であるので、児童 が興味・関心をもつ自分のことや身の回りの物を題材にしながらも、事実だけでなく自分の考えや気持ちなどを自分の言葉で伝え合うことが大切である。また、言葉だけでは、自分の思いを伝えるのが難しいことがある。動作や写真などを加えて話すことで自分の考えや気持ちをより分かりやすくすることを重視した。タブレットの活用と言語活動の充実により、児童が学びを実感できるように授業づくりを行った。

《SKYMENU 活用のポイント》

本実践における SKYMENU 活用のポイントは以下の3点である。

① アイデアを共有して、自分の考えを広げる

「～を考えてみよう」と投げかけても、外国語ということもあり手が止まってしまう場面が多い。そこで授業の導入から、気づきメモを活用することで、友達の意見をヒントにできるようにした。外国語やグループワークが苦手な児童が授業の導入で躓かないように工夫した。

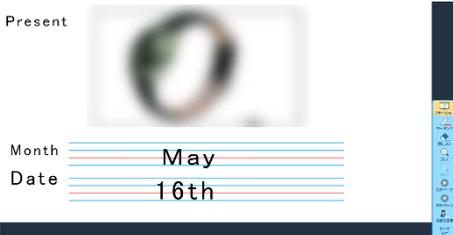
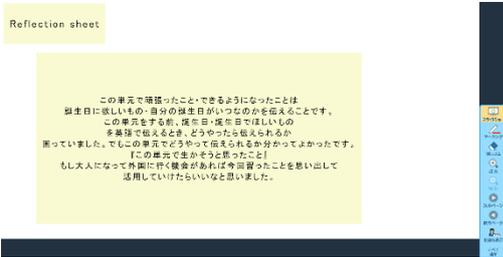
② 「みんなが」外国語が話せるユニバーサルデザインな場づくり

英語を使う場面を増やす、児童が自分の言葉で話すことが外国語の授業では大切である。クラスの中には外国語を話すことに恐怖心があったり、失敗するのが嫌な気持ちがあったり、様々な特性をもつ児童が在籍する。発表ノートを活用することで、そんな児童も自信をもって、英語を使えるように授業づくりに取り組んだ。

③ 学びの共有

毎時間リフレクションシート(振り返り)を行っている。発表ノートを使うことで、友達の発表ノートも見る事ができる。そこから、さらに自分の振り返りを広げたり、新たな視点から学習の振り返りしたりすることにつながる。また、発表ノートで行えば、いつでも過去の振り返りをみることができる。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	<p>1. Small talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT の誕生日に欲しいものを聞く <p>2. 本時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づきメモを使いながら自分の誕生日に欲しいものを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきメモで、友達の考えを見ながら、自分の誕生日に欲しいものを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークにすることで、自分の考えを共有しやすくする。
展 開	<p>3. Activity ①</p> <p>発表ノートで写真などを使い誕生日や誕生日プレゼントを伝えるための資料を作る。</p> <p>4. Activity ②</p> <p>実際に発表ノートを見せ合いながら、自分の考えや誕生日を英語やジェスチャーで伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表ノートに自分の誕生日や欲しい誕生日プレゼントをまとめる。すべて英語で使わなくても、写真やイラストを使ってもよいことを伝える。  <ul style="list-style-type: none"> ・作成した発表ノートを使いながら友達に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「どうすれば相手に自分の考えが伝わるか」を大切にしながら発表ノートを使う。 ・発表ノートを使うことで、途中でお互いのノートを簡単に見られるようにしておく。
ま と め	<p>5. Review</p> <p>発表ノートを使って本時の振り返りをする。どんなことができるようになったか、今回の学びをどのように活かしたいかまとめる。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・発表ノートを活用して振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをお互いに見られるようにしておくことで、自分の振り返りをより深められるようにしておく。

《実践を振り返って》

今回の実践は、昨年度 SKYMENU を使わずに授業をした。今回は SKYMENU を使って行ったことで、分かったメリットが主に3つある。

1 つ目は、友達の意見や考えをその場ですぐに共有できることである。外国語の授業に限ったことではないが、高学年になるほど間違いを恐れて発表の数が減っていくことがある。しかし、気づきメモを使えば、自分の意見を気軽に共有することができる。また、友達の意見に反応するのもとても簡単であったり、自分のペースでじっくりと意見をまとめたりすることが可能である。さらに、実際に使う中で、参考のサイトの URL やスクリーンショットを共有する姿まで見られた。こうした、活動は気づきメモを使ったからこそ生まれたものである。

2 つ目は、児童のレベルに応じて調整できる点である。外国語の授業の難しさの一つに、児童によって能力が大きく異なる点がある。帰国子女の児童から、外国語を初めて勉強する児童まで様々である。そのような背景を考えると、全員が同じレベルで同時に課題に取り組むことは困難で、児童の成長につながらない。発表ノートを使うと、英語が得意な児童は全てを英語で書くことができる。一方、英語が苦手な児童は、画像やイラスト、図などを貼りつけることで友達に自分の考えを伝えやすくなる。また、分からない単語や表現をすぐに調べられるのも大きなメリットである。こうした発表ノートを活用した活動は、個別最適な学びを提供するのに大きく役立った。

3 つ目は、評価がしやすく教員の業務改善につながる点である。以前までは、授業が終わった後に、ワークシートを回収し、出席番号に並び替え、スキャナーにデータを読み込ませるなど非常に手間と時間がかかった。しかし、SKYMENU であれば、即座に回収が可能で、課題の確認もとても簡単である。また、データをダウンロードすれば、ALT と同時に児童の課題を評価・確認することができる。これは、大変大きな変化であり、大幅な業務改善につながった。

以上のような SKYMENU のメリットを生かした授業計画を立てた。SKYMENU を使うことで、児童・教員両方に大きなメリットがあることに気づいた。これは、外国語に限らず、他の教科でも活かせると思う。今後も、活用していきたい。